

道宣と南山律学の形成

——律宗がはじまるとき

とつぐけんしょう
戸次顕彰 [著] (大谷大学文学部講師)

A5判・上製カバー・四〇八頁・本体七、〇〇〇円＋税

2025年3月刊行



鑑真が日本にもたらした戒律の淵源とは？ 律宗の祖とされる道宣の諸著作をひもとき、律学形成をめぐる実践的仏教の展開を明らかにし、東アジアに広く受容された仏教における日常生活の点検という営みの伝統を遡源する。

序章 本書の目的と構成

第一部 北朝佛教の學風とその繼承

第一章 慧光から『淨心誠觀法』へと至る佛教學風

第二章 罪福をめぐる『七種禮法』引用の意圖

第三章 『凡聖行法』と罪・福・聖道

第二部 律僧・佛教史家としての問題意識

第四章 道宣著作における〈事〉の概念

第五章 僧祐から道宣へと至る佛教史家の課題

第六章 僧祐と道宣における著作活動の類似性

第三部 四分律學の形成と『四分律行事鈔』

第七章 『四分律行事鈔』の書名成立をめぐる諸傳承

第八章 智首・道宣による四分律學の形成と義淨の批判

第九章 『四分律行事鈔』における佛典引用の諸相

第十章 『四分律行事鈔』の構成とその意圖

結章 それは律宗と呼ばれた

参考文献／初出一覽／後記／索引

【目次】

注文書	
(書店名)	様冊
ご担当	法藏館
戸次顕彰 著	七、〇〇〇円＋税
道宣と南山律学の形成	ご住所
律宗がはじまるとき	お電話
ISBN978-4-8318-7786-4 C3015	お名前

【著者略歴】

1981年生まれ、新潟県出身。東洋大学文学部卒業、大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(仏教学専攻)満期退学。博士(文学)。大谷大学文学部任期制助教、真宗大谷派親鸞仏教センター研究員等を経て、現在、大谷大学文学部仏教学科講師。専門は仏教学、特に中国仏教・仏教史。主な論文に、『『出三藏記集』序から『大唐西域記』讚へ——その歴史叙述の共通点と相違点——』(荻谷定彦・小西日逸・大平宏龍三先生頌寿記念論文集刊行会編『法華仏教の潮流——教えと学びの道しるべ——』共著、法藏館、2024年)などがある。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国仏教